

SX ブイヨン 2 (SX2-T)

For microbiological control only

SX broth 2 (SX2-T)

食品検体における *Salmonella* の選択増菌。VIDAS 用。

用途

SX ブイヨン 2 (*Salmonella Xpress*) は、食品検体および環境検体における *Salmonella* の選択増菌用として、VIDAS Easy *Salmonella* (VIDAS SLM Ref. 30702) プロトコルで使用します。

原理

本培地は種々のペプトンを含む豊富な栄養源を基礎としています。また、*Salmonella* の主な種の増殖に適した pH を保つ緩衝剤としての役割も担います。

選択性は選択剤混合物によりもたらされます。選択性は、特に、強度に汚染のある検体における干渉を抑制することができるように強化されています。

キット構成

調整済み培地	
REF 42121 試験管培地	20 本(10mL)
SX2-T	

組成

理論値

性能を保持するため若干変更される場合があります：

カゼインおよび肉ペプトン(牛または豚)	15g
緩衝剤	20g
塩混合物	20g
酵母エキス	5g
ブドウ糖	0.5g
選択剤	0.25g
精製水	1,000ml

pH6.6

必要な試薬および器材

試薬：

- VIDAS SLM(Ref. 30702)

器材：

- ふ卵器

使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者がご使用下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した製品は伝染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。**安全ガイドライン**: NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue; Approved Guidelinne – Current Revision»
操作留意事項: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH - Latest edition,

または各国の規制ガイドラインに従って下さい。

- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている培地は使用しないで下さい。
- 長期の保管により、培地の色が青緑色から緑色になったり、また、混合により容易に分散するような淡い緑色の沈殿が試験管の底にみられる場合がありますが、培地の性能には影響ありません。
- ご使用前に、フタに破損がないことをご確認下さい。
- 本培地は添付文書に記載された方法に従ってご使用下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

貯蔵条件

- 箱未開封の状態、2-8 下で有効期限まで保管可能です。

検体

検体の採取と前処理に関する最新の標準法に従って下さい。検体の採取や輸送は GLP(Good Laboratory Practices) に準拠し、検体の種類に応じて適切に処理して下さい。

使用法

1. 培地を室温に戻し、使用前に攪拌して下さい。
2. VIDAS SLM の添付文書に記載されている VIDAS Easy *Salmonella* のプロトコルに従って使用して下さい。

判定

VIDAS SLM の添付文書をご参照下さい。

品質管理

VIDAS Easy *Salmonella* のプロトコルで SX ブイヨン 2 を使用する場合、VIDAS システムの細菌学および免疫学的な品質管理に準じます。

各種菌株を用いた VIDAS による微生物学および免疫学的試験の結果は、ロットごとの試験成績書に記載されています(ご要望に応じご提供致します)。

留意事項

- SX ブイヨン 2 は VIDAS SLM を用いた食品検体中の *Salmonella* の検出用に開発されたものです。他の目的で使用する場合は予め評価を行って下さい。
- 発育の度合いは微生物各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な要求性(栄養基質、温度等)を有する株は発育しないことがあります。

廃棄処理

使用済みもしくは使用していない試薬の廃棄は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って行って下さい。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献

1. MAIJALA R., JOHANSSON T., HIRN J. – Growth of Salmonella and competing flora in five commercial Rappaport-Vassiliadis(RV) – media – National Veterinary Institute, Helsinki, Finland, 1992.
2. PETERZ M., WIBERG C., NORBERG P. – The effect of incubation temperature and magnesium chloride concentration on growth of Salmonella in home-made and in commercially available dehydrated Rappaport-Vassiliadis broths – J. Appl. Bacteriol. 1989, vol66, p. 523-28.
3. Microbiology of food and animal feeding stuffs. – Horizontal method for the detection of Salmonella spp. – ISO 6579 : 2002(F) – 4th ed.

記号

記号	内容
REF	品番
	製造元
	保管温度
	有効期限
LOT	ロット番号
	使用手順を参照
	試験可能数

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社 販売管理部

TEL: 03-6834-2669

**シスメックス・ビオメリュー株式会社**東京都品川区大崎一丁目2番2号
大崎セントラルタワー8階

bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax133(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>